

## 武蔵村山市男女共同参画に関する事業所アンケート

皆様には、日頃から市政に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、この度御回答をお願いいたします調査票は、令和6年度に次期計画となる「武蔵村山市第五次男女共同参画計画ーゆーあいプランー（仮称）」を策定していく上での基礎資料とするため、企業の皆様の立場から見た男女共同参画・女性活躍推進に関する現状・課題等をお聞きするものです。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年●月

武蔵村山市長 山崎 泰大

### ■ 御記入についてのお願い ■

1 御回答は経営者（代表者）様または人事・総務ご担当者様でお願いします。  
本市からこの調査票を送付させていただいた事業所の状況について御回答ください。

2 回答方法

令和5年●月●日（●）までに、次の①または②のどちらかの方法で回答してください。

#### ①郵送による回答

- ◆調査票に記入の上、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに郵便ポストへ投函してください。
- ◆回答は、該当する算用数字を○で囲んでください。「1つ」「3つまで」など、それぞれ指定されていますので御注意ください。  
「その他」を選んだ場合は、具体的な内容を（ ）に記入してください。

※（回答例） ①. 2. 3.

#### ②インターネットによる回答

- ◆QRコードまたはURLよりアクセスの上、パソコン又はスマートフォンで回答してください。

[https://enquete.cc/q/R5musashimurayama\\_jigyo](https://enquete.cc/q/R5musashimurayama_jigyo)

QRコードが  
入ります。

【お問合せ先】武蔵村山市 協働推進部 協働推進課

TEL : 042-565-1111（代表）内線 242/243 FAX : 042-563-0793

## 1 貴事業所について

問1 貴事業所の事業の業種についてお答えください。(○は1つ)

※複数業種にまたがる場合には、直近1年間の売上高が最も多いものをお選びください。

- |              |             |           |
|--------------|-------------|-----------|
| 1. 建設業       | 2. 製造業      | 3. 運輸業    |
| 4. 卸・小売業     | 5. サービス業    | 6. 飲食・宿泊業 |
| 7. 金融・保険業    | 8. 不動産業     | 9. 医療・福祉  |
| 10. 教育・学習支援業 | 11. その他 ( ) |           |

問2 貴事業所の従業員数(令和5年8月1日現在)についてお答えください。(○は1つ)

- |            |           |           |
|------------|-----------|-----------|
| 1. 20人以下   | 2. 21~30人 | 3. 31~50人 |
| 4. 51~100人 | 5. 101人以上 |           |

コメントの追加 [IRS1]: 問2~4は、数字で記入頂く形式よりも回答を多く得られると考えられるため、選択肢形式とさせて頂きました。

問3 従業員に占める女性の割合についてお答えください。(○は1つ)

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 20%未満    | 2. 20~40%未満 | 3. 40~60%未満 |
| 4. 60~80%未満 | 5. 80%以上    |             |

問4 従業員に占める正規雇用者の割合についてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

(1) 男性

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 10%未満    | 2. 10~30%未満 | 3. 30~50%未満 |
| 4. 50~70%未満 | 5. 70~80%未満 | 6. 80%以上    |

(2) 女性

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 10%未満    | 2. 10~30%未満 | 3. 30~50%未満 |
| 4. 50~70%未満 | 5. 70~80%未満 | 6. 80%以上    |

## 2 あらゆる従業員の活躍に向けた取組について

問5 女性従業員の起用・配属について、どのように実施されていますか。(〇は1つ)

1. 男女の区別なく幅広く起用している
2. 女性は、補助的な業務にのみ配属している
3. 女性は、特定の職種や専門分野でのみ起用している
4. その他 ( )

問6 貴事業所では、女性の活躍推進のために、次のような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

1. 性別にかかわらず評価できるよう、人事考課基準を明確に定めている
2. 性別にかかわらず、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる
3. 人材育成や資格取得のための研修などを、性別に関係なく行っている
4. 仕事と家庭を両立させるための制度を充実させている
5. 女性の意見や要望を聞く場を設けている
6. 女性の意欲や就業意識を高めるための研修などを行っている
7. 女性の少ない職場の環境を整備して、女性を配置できるようにしている
8. 男性管理職に対して、女性が活躍することの重要性について啓発を行っている
9. その他 ( )
10. 特に取り組んでいることはない

問7 貴事業所の管理職(係長相当職で部下を1人以上持つ方や課長相当職以上の方)に占める女性の割合についてお答えください。(〇は1つ)

- |               |             |            |
|---------------|-------------|------------|
| 1. 女性の管理職はいない | 2. 1～5%未満   | 3. 5～10%未満 |
| 4. 10～20%未満   | 5. 20～30%未満 |            |
| 6. 30～50%未満   | 7. 50%以上    |            |

【問7-1は問7で「1」～「5」までを選択した方にうかがいます。】

問7-1 女性管理職が少ない・または全くいないのは、どのような理由からだと思えますか。(〇はいくつでも)

1. 必要な経験・判断力を有する女性がいらないから
2. 女性自身が管理職になることを希望しないから
3. 将来管理職につく可能性のある女性はあるが、役職につくための在籍年数を満たしていないから
4. 勤続年数が短く、管理職になる前に退職してしまうから
5. 男性従業員が女性管理職を希望しないから
6. 顧客が女性管理職を良く思わないから
7. 女性従業員が少ない、またはいないから
8. その他 ( )

問8 貴事業所では、非正規従業員に対する支援策はありますか。(〇はいくつでも)

1. 同一労働同一賃金にする
2. 人事考課システムを導入し、能力を評価する
3. 正規の従業員と同じ研修機会を設ける
4. 期間を定めた労働契約から期間を定めない労働契約にする
5. 非正規従業員を、正規の従業員へ転換する
6. その他 ( )
7. 特にない

### 3 仕事と育児・介護の両立への支援について

問9 育児休業制度が就業規則や労働協約等で規定されていますか。(〇は1つ)

1. 育児・介護休業法で定める範囲※で規定されている  
※満1歳まで。特別の事情があれば2歳まで。
2. 育児・介護休業法で定める範囲を超えて規定されている  
(具体的内容 )
3. 規定されていない

問10 令和4年1月1日～12月31日の間に出産または配偶者が出産した従業員の人数をご記入ください。(該当がない場合は「0」)

|           |   |                   |   |
|-----------|---|-------------------|---|
| 出産した女性従業員 | 人 | 配偶者が出産した<br>男性従業員 | 人 |
|-----------|---|-------------------|---|

問11 そのうち、育児休業を取得した従業員の数をご記入ください。

|           |   |                   |   |
|-----------|---|-------------------|---|
| 出産した女性従業員 | 人 | 配偶者が出産した<br>男性従業員 | 人 |
|-----------|---|-------------------|---|

問12 男性従業員の育児休業の取得を進めていく上での課題はありますか。(〇は3つまで)

1. 代替要員の確保など人員の不足
2. 制度の整備がされていない
3. 男性従業員に育児休業取得の意識がない
4. 社内にロールモデルがない
5. 育児休業を取得しづらい雰囲気がある
6. 管理職の理解や意識がない
7. 所得減や昇進への影響の懸念
8. 制度等の周知・啓発
9. その他 ( )
10. 特に課題はない

問 13 貴事業所の正規雇用の女性従業員の就労傾向について、最も近いものをお選びください。

(○は1つ)

1. 結婚・出産を経ても、働き続けることが一般的になっている
2. 出産・子育てを機に退職する傾向にある
3. 結婚を機に退職する傾向にある
4. 女性従業員が少ない(いない)ためわからない

問 14 貴事業所では、仕事と介護の両立支援に向けて、次のような取組を行っていますか。

(○はいくつでも)

1. 介護休業・休暇利用を就業規則等で明文化している
2. 在宅勤務制度やテレワークなど柔軟な働き方を導入している
3. 従業員の介護に関する実態把握を行っている
4. 介護に関する悩みなどを相談できる体制づくりを行っている
5. 介護休業や介護休暇について周知、奨励している
6. その他 ( )
7. 特に取り組んでいることはない

#### 4 職場における各種ハラスメントの防止について

問 15 貴事業所では、セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメント等を防止するために、何か取り組んでいることはありますか。(○はいくつでも)

1. 各種ハラスメント防止についての研修・講習等を実施している
2. 社内報やパンフレットの配布により啓発・周知を行っている
3. 社長をはじめ企業のトップによるメッセージを発信している
4. 就業規則等で各種ハラスメント防止についての方針を明確にしている
5. 実態把握のための調査をしている
6. 相談窓口を設置している
7. その他 ( )
8. 特に何もしていない

## 5 男女共同参画に関する市の施策・制度について

問 16 武蔵村山市では、一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、多様な生き方を選択・実現できるようなまちを目指し「ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度」を設けています。この制度について知っていましたか。(○は1つ)

1. 制度に登録している
2. 登録はしていないが、制度の内容を知っている
3. 聞いたことはあるが、制度の内容は知らなかった
4. 制度の名前も内容も知らなかった

制度に関する詳細は QR コード  
(市HP)からご覧いただけます。



問 17 今後、事業所における男女共同参画を推進する上で、市・行政にどのような取組を期待しますか。(○はいくつでも)

1. 社会の変化や法律・制度改正に関する情報提供
2. 市内企業における取組事例やロールモデルに関する情報提供
3. 男女共同参画や女性活躍推進に関する企業向けの相談体制の充実
4. 取組を推進する企業への表彰制度
5. 取組を推進する企業への入札参加資格審査等における加点評価
6. 他の事業所との情報交換の場や機会の提供
7. 保育施設・保育サービスの充実
8. 高齢者や障がい者、看護が必要な人のための施設・介護サービスの充実
9. その他 ( )
10. 特に期待する取組はない

お忙しいところ御協力頂き誠にありがとうございました。